

熊野中國語大辭典

新裝版

熊野正平 編

熊野中國語大辭典

新裝版

熊野正平 編

三省堂

1984年10月10日 限定特装版発行
1985年7月1日 新装版発行



熊野中国語大辞典

新装版

定価 20,000 円

1985年9月1日 第3刷発行

編 者 熊 野 正 平 (くまの・しょうへい)

発 行 者 株式会社 三 省 堂
代表者 上 野 久 徳

印 刷 者 三省堂印刷株式会社

発 行 所 株式会社 三 省 堂

〒101 東京都千代田区三崎町二丁目22番14号

電 話 編 集 (03) 230-9411

販 売 (03) 230-9412

総 務 (03) 230-9511

振替口座 東京 6-54300

<新装熊野中国語・1,288 pp.>

落丁・乱丁本はお取替えいたします

ISBN-385-12167-2

© 1984 Sanseido Co., Ltd.

Made and printed in Japan at the Sanseido Press, Tokyo

緒 言

この辞典の編纂は昭和 30 年着手、爾来約 15 年を経てようやく出版の運びとなった。初めの約 1 年程は、内外既刊の辞典、中国の新旧小説、新聞雑誌、語録、白話諸文献の類から基本語彙を集め、年来心がけてノートしておいたものなども加えて、これらをすべてカードに採録し、これを整理することに費やされた。カード総数は約 20 万枚、整理によって除いたものが約 5 万、従って編纂工作の対象となったのは約 15 万枚であった。

カードの採録に当たっては、ひろく日本の現代中国語学習者・実務家に役立たせたいということを目安にした。従って中国刊行の辞書の類をそのまま藍本にするような方法は採らなかった。けだしそれでは必ずしも我が国の利用者にとって必要な語彙が、ことに中国人は誰もが熟知しているため、かえって辞書には載せられていないというようなことが少なくないからである。

幸い最近我が国でも、なかなか特長をもった立派な中国語辞典もおいおい出るようになったことは喜ばしいが、ただ概して言って、採録語彙が少なかったり、あるいは高級文語めいたものは往々割愛され、ために別に漢和辞典とか中国刊行の辞海・辞源の類を併用しなくては用を便ずるに足りない場合もあり、また用例があまり挙げられていないために、その言葉が実際どのように使われるかを知るには間然するところがないでもない。さらに最近の中国の政治・経済・社会の急激な変動や科学技術の改進による新しい語彙の造成や表現の変化ということも少なくない。

編纂に当たっては、できるだけそうした面にも留意はしたが、菲才果たしてどこまで素願を達成し得たか、顧みてまことに忸怩たるものがある。庶幾くは今後諸先達の叱正を得て増改訂をはかって行きたい。

語義の解釈は井上辞典を初め、手に入る限りの先人の業績を十分に利用させて貰ったが、ただそれらをそのまま無造作に踏襲する安易な道によらず、編纂工作には終始 靳炎彬（元上海東亜同文書院大学教授・一橋大学講師）、歐陽可亮（元上海東亜同文書院大学講師）両氏の御同席を請い、原稿カードの大多数はその一々について、意味・解釈・読音また可及的多くの用例作成等すべて共同再検討を加えた。家事・裁縫・料理等については張祿澤夫人（前愛知大学講師）の教えを請うたものが少なくない。原稿カードをインフォーマントの中国人と共同して逐一検討するような愚直な方法は、かなり時間のかかる労作ではあったが、これは一度は誰かがやっておくのも意義無しとしないと考え、私は敢えて終始この方法を採用した。そのために編纂工作は遅々として進まず、思わぬ長期間にわたってしまった。

訳語の配列は必ずしも在来の辞典類の例にならわず、また靳・歐陽氏等と相諮って、だいたひ語詞本来の意義とか、または常用頻度の高いと思われる順序によった。欧州諸国語辞典によ

く見られる品詞別による配列は、中国語の特質から言って必ずしも適当でないとの見地から、特に必要ある場合のほかは踏襲しなかった。

近時、人民共和国では簡略字体が正字として採用せられ、爾来中国本土の出版物はみなこれを使用するようになっている。それで私は決定公布された簡体字は、本字と別に画数に按じてこれを挙げ、なお対照検字のための簡体字索引を巻末に付しておいた。

従来日本における中国語の発音表記は注音符號、トーマス・ウェード式のほか、仮名やローマ字による等々種々の方式が行なわれてきた。しかるに近時の中国において、中国文字改革協會(1941.1)、中国文字研究委員會(1952.2)等における研究討論実験を経て、1957年漢語拼音方案が國務院全体會議を通過し、1958年全国人民代表大會で可決採択せられ、中國大陸でのこの問題が一応の定型をとってきたのに従って、近頃我が国で刊行せられる中国語教科書、辞典の類は相繼いでこれにならうものが増えてきている。しかし漢語拼音方案式にも現代中国標準語を学ぶ日本人にとってはいろいろ欠陥があり、これがとくに適当な表記法であるとは考えられない。卑見を端的に言えば、要は自国人の中国語学習に当たって正しい中国語音をできるだけスムーズに会得させるにあるのであって、英米独仏などにおいても何れもそうした考えで中国語音の表記法を自国人に適当なものに作っているのである。

それに中国では清末民初以来いろいろの発音表記法が勘案されて来たが、大部分の中国人はどぎつい方言の行なわれている地方の者などは別として、どんな表記法が用いられようと、その言葉は生れ落ちるときから習熟している言葉なのである。表記符号によって初めてその言葉を、そしてその読み方を知るわけではない。従って例えば「死」を si と表記し、これを「シー」とは読まず「スー」と読むのが約束だと教えられれば、ローマ字そのものも多くは初めて教わるのであってみれば、これに格別抵抗を感じずともなく、またそのために読み方を間違えることもあるまい。一部地方のもの以外は幼児でも「死」は「スー」と知っているからである。ところが我々日本人が外国語として中国語を学習する場合には、これとは事情がよほど異なる。異国語である中国語を学ぶのであり、しかも英語教育の著しく普及したこの国では、si を「スー」に、ba・da・ga をパ・タ・カに読むことは、単なる約束にすぎないと言われても、どうしてもそこにある不自然さを感じずるばかりか、ややともすればこれらを濁音に発音する癖が不知不識の間に養われやすい。ji・qi・qu・c- 等にしてもやはりある種のぎこちなさが感ぜられるであろう。

これを要するに、漢語拼音方案式の表音法も恐らく国音統一のよすがのルビとして利用されるのがその主たる効用で、その意味では彼の国では相当な実効が期待されるであろうが、我々日本人の中国語学習にとっては、ぜひこれだけでなくはならぬという程の利点もないし、さらにそれが近い将来に中国本土で漢字に代わって圧倒的に通用する文字になると考えることも今のところまだ夢のような話である。

表記法はどれも所詮は記号もしくは符丁にすぎないのであって、記号そのものに学習者の発音をよくする効力があるわけではなく、どの表記法にも約束があり、欠点もある。有気・無気、そり舌音(捲舌音)、寛音・窄音等の区別などというものは、外国の学習者にとっては結局口移

し、ないしは少なくともレコードとかテープ等による学習が必要であらう。それやこれやで、私はこの辞典においては、着手の当時知友同学や学生諸彦などからのアンケートに基づき、先に竹田復、魚返善雄両文学博士がウェード式を中心に考案したものに若干私の考えを加味した表記法を採用し、親字には漢語拼音方案式を併記し、発音のタイトルには注音符号をも併記、さらに巻末にそれら表記法を対照させ音韻組織一覧表を付した。

さて、この辞典工作がここまで来るためには、原稿執筆の段階で山口左熊（元上海東亜同文書院教授・NHK 中国課・一橋大学講師）、王傑（当時大東文化大学講師）、澤村駿朔（丸紅飼料畜産株式会社）、湊禮二（井関農器株式会社）氏、校正・訳語の整理・付録と索引等作成時における鈴木健之氏等のほか、前後延べ約 50 名の一橋大学・東京大学・東京教育大学・横浜国立大学・二松学舎大学の学生諸君の他多数の方々の援助を煩わした。そのほかに三省堂の方々、ならびに組版を願った大日本印刷株式会社の諸氏の協力や尽力に対しては、ここにあらためて謹んで深甚の謝意を捧げたい。

昭和 46 年 春

熊 野 正 平 識

凡 例

編修上の細則あるいは、常識的な規則を省き、本辞典を使用する上で特に必要と思われる事項についてだけに言及した。

I 字体について

1. 本辞典は正字・繁体字・旧体字のほかに、俗字・異体字・新体字・簡体字なども親字として収めているが、語義・見出し語は原則として前者の個所で扱った。見出し語・用例などの中国語もまた正字・繁体字・旧体字で出した。
2. 簡体字については、発音・語釈を挙げず、もとの繁体字を「」の形で示すに止めた：

⁷【凍】⇨「凍」

従って、簡体字の語義・用例・熟語は繁体字の項で求められたい。

なお、親字としてすべての簡体字を収めてはいないから巻末の「簡体字索引」をも利用されたい。

II 配列について

1. 親字の配列は本辞典標音方式のアルファベット順によった。なお、発音表記については1190, 1191ページの「中国語音韻組織一覧表」を参照されたい。
2. 同音の親字は声調（軽声・第一声・第二声・第三声・第四声）の順に配列し、各声調の最初の親字は【 】に入れて示した。
3. 同音同声調の親字は画数順により配列し、すべての親字にその総画数を左肩につけ、画数の変わり目ではこの数字を太くした：

¹⁰【級】*chí', jì'*

¹¹【寂】*chí' (chì'), jì' (jì')*

4. 見出し語の配列は第2字目の画数順により、第2字目が同字の場合は第3字目の画数順によった。
5. 画数の数え方は伝統的習慣に従ったが、簡体字は「簡化字総表検字」B表によった。また、草冠の+と艹はすべて3画とした。

III 音節の見出しについて

本辞典標音方式・漢語拼音方案及び注音字母の綴りを併記し、次のようにした：

TS'AI, CAI

ㄗㄞˊ ㄘㄞˊ

IV 発音について

1. 親字の字音は本辞典標音方式を太字の斜体で、漢語拼音方案を太字の立体で綴り、ともに声調は直観符号（ˊ ˋ ˊˊ ˋˋ）を右肩につけ、軽声は無符号とした。
2. 親字に字音が複数ある場合は次のように処理した。

a) 意義上の区別なく共用するとき：

pang'ˊ, bang'ˊ

pang' (panˊ), bang' (banˊ)

pang' (又: panˊ), bang' (又: banˊ)

pangˊ, panˊ, bangˊ, banˊ

なお、見出し語の注音もこれに準ずる。

b) 意義によって異るときは——で改行して示した：

⁹【洗】*hsiˊ, xiˊ* ①洗う。②入浴する。

——*hsienˊ, xianˊ* ①清める。②姓。

また、→次項 とあった場合はその親字の項を各字音に分けて語釈・見出し語を挙げてある：

⁴【少】*shaoˊ, shaoˊ* …

——*shaoˊ, shaoˊ* →次項。

[少一缺二] *shaoˊ iˊ ch'ueˊ êrˊ*

——*shaoˊ, shaoˊ* …

[少女] ~ *nüˊ*

なお、→その項 とあった場合はその別発音の個所に語釈・見出し語を挙げてある：

⁵【朮】*shuˊ, shuˊ*

——*chuˊ, zhuˊ* →その項。 (853 ページ)

⁵【朮】*chuˊ, zhuˊ* 《植》おけら、…

——*shuˊ, shuˊ* (204 ページ)

c) 下のように何も語釈がない場合は *moˊ* の個所で一括して説明してある：

⁷【沒】*meiˊ (moˊ), meiˊ (moˊ)*

3. 見出し語の注音は本辞典標音方式によった。
4. 見出し語で発音の違いによって語義の変わるものは、親字の場合に準じ——で改行して示した：

[末子] ~ *tsüˊ* 物の屑、粉。

——~ *tsüˊ* 末の子

5. 見出し語の注音には当該親字の字音を省略するため ~ を用いた：

【止】*chíˊ, zhíˊ*

[止水] ~ *shuiˊ* = *chíˊ shuiˊ*

また、複数の字音をもつ親字の場合は次のように示した:

【蕃】*fan', fan'*

—*fan', fan'*

【蕃民】*fan' min'*

【蕃酋】~ *ch'iu'*

= *fan' ch'iu'*

【蕃國】*fan' kuo'*

—*fan' kuo'*

【蕃薯】~ *shu'*

= *fan' shu'*

6. 第3声の重複による変調は原声調のまま表記した。
7. 「見化韻」については実際の音変化を考慮せず、すべて一律に原字音に -r を添えて綴った。

V 語義・用例について

1. 親字及び見出し語の意味は ①②③ …, 次いで 1) 2) 3) …, さらに ; と, を用いて順に区分した。
2. 用例は語釈・訳語の直後のコロン(:)に続けて「」…; 「」… のように並べた。用例中などの ~ は当該項の親字または見出し語の省略符号である:

4【巴】*pa', ba'* ① …: 「~望」 = 「巴望」

【巴拉芬】…パラフィン: 「~油」 = 「巴拉芬油」

3. 用例がどの意味区分にも属さない場合、また多くの用例を一括して示す場合などは ♪ のあとに挙げた:

【白金】… ① … ② … ③ … ♪ 「~漢宮」 バッキンガム宮殿 (英王室)。

5【打】*ta', da'* ① … ⑩ …

—*ta', da'* ダース…

♪ 「得先 ~ (ta') 出 …; 「那是 …」

4. 出典は く の記号で示した:

【唐僧取經】~ *sêng' ch'ü' ching'* 唐僧玄奘が天竺に行き仏經を求めた故事 〈西遊記〉。

VI 見出し語中の () [] について

() の中の字・語はその前の字・語と代替できることを示し, [] の中の字・語は省略してもよいことを示す。発音もこれに準ずる:

【紅領襟(巾)】~ *ling' chin'* = 紅領襟, 紅領巾

【看他(你・我)面上】~ *t'a' (ni'·wo') mien' shang'*,

= 看他面上 *k'an' t'a' mien' shang'*,

看你面上 *k'an' ni' mien' shang'*,

看我面上 *k'an' wo' mien' shang'*

【停停(兒)】~ *t'ing' [-r]*

= 停停 *t'ing' t'ing'*,

停停兒 *t'ing' t'ing' -r*

【擺擺(子・兒)】~ *t'an' [tsü--r]*

= 擺擺 *pai' t'an'*,

擺擺子 *pai' t'an' tsü,*

擺擺兒 *pai' t'an' -r*

なお、語釈・用例における場合もこれに準ずる。

VII その他の注意

1. 必要に応じて 又:, 俗:, 読:, 口: を標音文字の前につけて、その発音が又音, 俗音, 読音, 口語音であることを示した。
2. 用例と、解説の中などに出て来る中国語は、これを「」に括んだ。
3. 矢印(⇒)は広く「参照せよ」の意に用いてある。

略 語 表

《医》……………医学	《歌》……………歌後語	《数》……………数学	《兵》……………兵語
《印》……………印刷	《謙》……………謙語, 謙称	《政》……………政治	《簿》……………簿記
《映》……………映画	《建》……………建築	《俗》……………俗語	《法》……………法律
《音》……………音声学	《諺》……………俚諺	《地》……………地名	《質》……………質易
《化》……………化学	《故》……………故事	《虫》……………虫類	《紡》……………紡績
《海》……………海語	《工》……………工学	《鳥》……………鳥類	《梵》……………梵語
《楽》……………音楽, 楽器	《鉦》……………鉦物, 鉦業	《哲》……………哲学	《藥》……………藥品, 藥学
《株》……………株式	《史》……………歴史	《天》……………天文学	《喻》……………比喻
《官》……………官名, 官制	《宗》……………宗教	《電》……………電気, 電信	《理》……………物理
《気》……………気象	《書》……………書名	《動》……………動物, 動物学	《略》……………略語
《機》……………機械	《商》……………商業	《農》……………農業	《量》……………量詞
《魚》……………魚類	《植》……………植物, 植物学	《罵》……………罵語	《倫》……………倫理
《経》……………経済	《織》……………織物	《貝》……………貝類	《論》……………論理学
《敬》……………敬語, 敬称	《心》……………心理	《仏》……………仏教	
《劇》……………演劇	《人》……………人名	《文》……………文法	

標準語発音と発音記号

中国標準語の発音記号には、これまで注音符号・ウェード式ローマ字・国語ローマ字(1928年政府制定、但しあまり普及せず)・国際音標文字・日本仮名等々種々のものが考案された。なかんずく最も広く行なわれてきたものとしては、世界的にはウェード式、中国本国では注音符号、今の人民共和国では漢語拼音方案であるといわれよう。

注音符号は1918年、時の北京政府によって注音字母として公布せられ、1930年注音符号と改称されたものである。漢語拼音方案の成立の経緯については詳しく述べぬが、これは従来中国で行なわれた諸方式の後を受けて考案せられたものだけに、中国人にとってはより恰好なものとなっていると思われる。

ただ、諸外国人の中国語標音用ローマ字としては、ウェード式が最も広く用いられてきたことには、またそれだけの理由なしとしないのであって、ウェードは英国人ではあるが、その表記法の考案に当たっては、よく国際的たることを考慮しつつ、ヨーロッパの三大言語即ち英・独・仏のすべてを参酌し、しかも常に簡単・明瞭・実用的であることに留意したといわれている。

しかしそれでもこれをさらに我々日本人のためのものとして考える時、なお若干の点で検討を要するものなしとせぬ。故に本辞典においては、ウェード式を中核としてその長所を保持しつつ、これに若干の改廃を加えた竹田復・魚返善雄両博士創案のものを主とした(その他の方式との異同は巻末の「中国語音韻組織一覧表」によって承知されたい)。

今これによって中国標準語の音韻を列挙(かっこ内は注音符号)してみると、

子音 21

- (双唇音) *p*(ㄆ) *p'*(ㄆ') *m*(ㄇ)
 (唇齒音) *f*(ㄈ)
 (舌尖音) *t*(ㄊ) *t'*(ㄊ') *n*(ㄋ) *l*(ㄌ)
 (舌後音) *k*(ㄍ) *k'*(ㄍ') *h*(ㄏ)
 (舌前音) *ch*(ㄔ) *ch'*(ㄔ') *hs*(ㄒ)
 (舌葉音) *ch*(ㄔ) *ch'*(ㄔ') *sh*(ㄕ) *j*(ㄑ)
 (舌齒音) *ts*(ㄗ) *ts'*(ㄗ') *s*(ㄙ)

母音 16

- (単母音) *a*(ㄚ) *o*(ㄛ) *a*(ㄛ) *e*(ㄝ)
i(ㄧ) *u*(ㄨ) *ü*(ㄩ)
 (複母音) *ai*(ㄞ) *ei*(ㄟ) *ao*(ㄠ) *ou*(ㄡ)
 (付子母音) *an*(ㄢ) *en*(ㄣ) *ang*(ㄤ) *eng*(ㄥ)
 (子化母音) *er*(ㄦ)

なお、*i*(ㄧ) *u*(ㄨ) *ü*(ㄩ) は他の母音と結合して *wa*(ㄨㄚ) *yüe*(ㄩㄝ) の如く結合母音を作る。このほか *v*(ㄨ) *ng*(ㄣ) *gn*(ㄣ) の符号もかつて作られたが、これらは上海音の「佛(*ve*)」「硬(*ngang*)」「年(*gnie*)」の如きを写すためのもので標準語には無用である。

中国語の子音についてまず知るべきは、有気音と無気音の区別である。

p'(ㄆ') *t'*(ㄊ') *k'*(ㄍ') *ch'*(ㄔ') *ts'*(ㄗ') は有気音で *p'* の右肩の「'」は有気符号である。有気音とは強烈な呼気の放出の伴う音で、例えば *p'* は *p'hu* の如く発音され、子音 *p* と母音 *u* の間に強い気流が流れる。この音を出すにはまず両唇を密閉して息をさえぎって後、これを押し破るようにして息を出し、それに母音 *u* を付けるのであって、呼気の放出が強い。同じ有気でも *p'*(ㄆ') *t'*(ㄊ') *k'*(ㄍ') の破裂音は気流が強く、*ch'*(ㄔ') *ch'*(ㄔ') *ts'*(ㄗ') の破裂音は気流が弱い。

その他の子音は無気音で呼気の放出を制限して発音する。この無気音は清音であって、「的」の字が「我的帽子」の「的」のように「の」を意味するなど、音のわたりの関係で濁声化するほか標準語には濁音はない。ままだるいは「怎麼」を *zen'ma* の如く無気音を濁音にいう人があるが、これは標準音にはない。

子音の中で日本人の注意すべきものとして、*f*(ㄈ) は日本語のフの子音でなく英語の *f* に近い。*h*(ㄏ) は日本語・英語のホの子音と異なり、喉をもっと奥の方で摩擦させて発音する。*ch*(ㄔ) *ch'*(ㄔ') *sh*(ㄕ) *j*(ㄑ) は舌葉音・捲舌音・そり舌音ともよばれ、子音中日本人には最もむずかしいが、舌の先を上歯の後の突出した部分にぐっと押しつけて離さぬようにして発音する。

母音中特に注意すべきものとして、*a*(ㄛ) は英語の *er·ur* に近い。大体エとオの中間音で、エという時の口形でオまたはエといって口の開きを心持ち狭め舌を下げて発音する。*u*(ㄨ) はややオに近いウで唇を丸めて突出し発音する。*ü*(ㄩ) は母音中我々日本人にとって最も困難な音である。イを発音するようにしそのまま唇に力を入れて絞るようにして唇を狭めればこの音になる。単一の音でエイではないことに注意すべきである。*an*(ㄢ) *ang*(ㄤ) の前者は窄音即ち *n* で舌の先を上顎につける。後者は寛音即ち *ng* は鼻へ抜ける。*en*(ㄣ) *eng*(ㄥ) の区別は前者と同様、但し *a* は両者ともにエオの中間音で発音符号は同じであるが、実際にはかなり異なり、前者はエに近く、後者はオに近い。従って *pen*(ㄆㄣ) はペンと聞け、*pang*(ㄆㄤ) はボンと聞こえる。けだし *n* と *ng* の影響である。*er*(ㄦ) は *a* にルが付いたものであるが、このルは日本語のように舌尖をはっきりつけず、つけるかつかないかで発音する。

次に四声表記だが、従来行なわれた主な方法は

- 1) 漢字に四声の記号をつける時には字の四隅に次のように圈点をつける(黒は有気音)。

陰(第一声) 陽(第二声) 上(第三声)
 去(第四声)

- 2) ウェード式では終りの字の右肩に数字をつける。
*yin*¹ *yang*² *shang*³ *ch'ü*⁴

3) 注音符號

ㄌ ㄞ ㄢ ㄣ ㄤ (横書)

ㄌ ㄞ ㄢ ㄣ ㄤ (縦書)

(第一声は符号をつけなくともよい)

4) 漢語拼音

yīn yáng shǎng qù

5) 本辞典の方式

yīn yáng shǎng qù

漢語の四声と読音は一字一字に固着したものであるが、次の如く変化する場合がある。

- 1) 軽音 2音節以上の語詞ではしばしば元来の声調を失なって軽く発音される音節があり、これを軽音・軽声・軽念等とよんでいる。例えば「衣裳」の「裳」は本来第一声であるが、この場合は「衣」をはつきり発音し「裳」は軽く発音される。「饅頭」の「頭」, 「椅子」の「子」の如きみな軽音である。

- 2) 第三声連続の場合 第三声は連続して発音しにくいのでふつう上の字が自然的に第二声に読まれる。但しまれにその逆の場合もないではない。「很好」

「旅館」「打我」の「很」「旅」「打」は第二声に読まれる。第三声が3個以上の場合これを1字と2字の語詞に切って、そのうち2字の語詞を上を要領で読むが、早く言う場合は最後の字以外はみな第二声となることもある。

- 3) 破音 同一の字が異なった意義に使用される場合、または意義は同一でも俗語・文語と用法上の相違から四声あるいは読音を異にするものがある。この現象を破音という。「中 chung」は「中國」「中央」等(なか)の意味では第一声であり、「中毒」の如く(あたる)意味では第四声である。「論」はふつう lun' であるが、「論語」の場合は lun', 「他」は文語ではしばしば t'uo' に読まれる。

- 4) 「一」「不」「七」「八」「七」「八」は第一声, 「不」は第四声であるが、第四声の前にあって重読される時は第二声に読まれる。「一」は本来第一声であるが、下の字によって第二声または第四声に読まれる。
「不 是。pú shì」 「七月。ch'í yüè」
「八 歲。pá suì」 「一。天。ì t'ien」
「一。年。ì nien」 「一。品。ì p'in」

中国語発音標記法対照表

- 1) 本表は漢語拼音方案のアルファベット順に配列し、対応する他の発音標記法をその右に挙げた。
2) 辞典本文部の示し方に則り、漢語拼音方案を立体で、本辞典式を斜体で示した。
3) 本辞典の標音法はウェード式を基に若干の修正を加えたものである。本辞典式と異なるウェード式標記は、() に入れてその直下に示した。

漢語拼音方案	本辞典式	注音符號	漢語拼音方案	本辞典式	注音符號	漢語拼音方案	本辞典式	注音符號
a	a	ㄚ	bie	pie (pieh)	ㄅㄟ	chan	ch'an	ㄔㄢ
ai	ai	ㄞ				chang	ch'ang	ㄔㄤ
an	an	ㄢ	bin	pín	ㄅㄣ	chao	ch'ao	ㄔㄠ
ang	ang	ㄤ	bing	píng	ㄅㄧㄥ	che	ch'ê	ㄔㄝ
ao	ao	ㄠ	bo	pó	ㄅㄛ	chen	ch'ên	ㄔㄣ
ba	pá	ㄅㄚ	bu	pú	ㄅㄨ	cheng	ch'êng	ㄔㄥ
bai	pai	ㄅㄞ	ca	ts'a	ㄘㄚ	chi	ch'í (ch'ih)	ㄔ
ban	pán	ㄅㄢ	cai	ts'ai	ㄘㄞ	chong	ch'ung	ㄔㄨㄥ
bang	pang	ㄅㄤ	can	ts'an	ㄘㄢ	chou	ch'ou	ㄔㄡ
bao	pao	ㄅㄠ	cang	ts'ang	ㄘㄠ	chu	ch'u	ㄔㄨ
bei	pei	ㄅㄟ	cao	ts'ao	ㄘㄠ	chua	ch'ua	ㄔㄨㄚ
ben	pên	ㄅㄣ	ce	ts'ê	ㄘㄝ	chuai	ch'uai	ㄔㄨㄞ
beng	pêng	ㄅㄥ	cen	ts'ên	ㄘㄣ	chuan	ch'uan	ㄔㄨㄢ
bi	pì	ㄅㄧ	ceng	ts'êng	ㄘㄥ	chuang	ch'uang	ㄔㄨㄤ
bian	pian	ㄅㄧㄢ	cha	ch'a	ㄔㄚ	chui	ch'ui	ㄔㄨㄟ
biao	piao	ㄅㄧㄠ	chai	ch'ai	ㄔㄞ			

漢語拼音 方 案	本辞典式	注音符號	漢語拼音 方 案	本辞典式	注音符號	漢語拼音 方 案	本辞典式	注音符號
chun	ch'un	ㄘㄨㄣ	ga	ka	ㄍㄚ	jiu	chiu	ㄐㄧㄡ
chuo	ch'uo	ㄘㄨㄛ	gai	kai	ㄍㄞ	ju	chiu	ㄐㄧㄡ
	(ch'o)		gan	kan	ㄍㄢ	juan	chiuan	ㄐㄧㄡㄢ
ci	ts'ü	ㄘㄣ	gang	kang	ㄍㄤ	jue	chiue	ㄐㄧㄡㄝ
cong	ts'ung	ㄘㄨㄥ	gao	kao	ㄍㄠ		(chiueh)	
cou	ts'ou	ㄘㄡ	ge	kê	ㄍㄜ	jun	chiün	ㄐㄩㄢ
cu	ts'u	ㄘㄨ		(ko)		ka	k'a	ㄎㄚ
cuan	ts'uan	ㄘㄨㄢ	gei	kei	ㄍㄟ	kai	k'ai	ㄎㄞ
cui	ts'ui	ㄘㄨㄟ	gen	kên	ㄍㄣ	kan	k'an	ㄎㄢ
cun	ts'un	ㄘㄨㄣ	geng	kêng	ㄍㄥ	kang	k'ang	ㄎㄤ
cuo	ts'uo	ㄘㄨㄛ	gong	kung	ㄍㄨㄥ	kao	k'ao	ㄎㄠ
	(ts'o)		gou	kou	ㄍㄡ	ke	k'ê	ㄎㄜ
da	ta	ㄉㄚ	gu	ku	ㄍㄨ		(k'o)	
dai	tai	ㄉㄞ	gua	kua	ㄍㄨㄚ	ken	k'ên	ㄎㄣ
dan	tan	ㄉㄢ	guai	kuai	ㄍㄨㄞ	keng	k'êng	ㄎㄥ
dang	tang	ㄉㄤ	guan	kuan	ㄍㄨㄢ	kong	k'ung	ㄎㄨㄥ
dao	tao	ㄉㄠ	guang	kuang	ㄍㄨㄤ	kou	k'ou	ㄎㄡ
de	tê	ㄉㄜ	gui	kui	ㄍㄨㄟ	ku	k'u	ㄎㄨ
dei	tei	ㄉㄟ		(kuei)		kua	k'ua	ㄎㄨㄚ
deng	têng	ㄉㄥ	gun	kun	ㄍㄨㄣ	kuai	k'uai	ㄎㄨㄞ
di	ti	ㄉㄧ	guo	kuo	ㄍㄨㄛ	kuan	k'uan	ㄎㄨㄢ
dian	tien	ㄉㄧㄢ	ha	ha	ㄏㄚ	kuang	k'uang	ㄎㄨㄤ
diao	tiao	ㄉㄧㄠ	hai	hai	ㄏㄞ	kui	k'ui	ㄎㄨㄟ
die	tie	ㄉㄧㄝ	han	han	ㄏㄢ		(k'uei)	
	(tieh)		hang	hang	ㄏㄤ	kun	k'un	ㄎㄨㄣ
ding	ting	ㄉㄧㄥ	hao	hao	ㄏㄠ	kuo	k'uo	ㄎㄨㄛ
diu	tiu	ㄉㄧㄡ	he	hê	ㄏㄜ	la	la	ㄌㄚ
dong	tung	ㄉㄨㄥ		(ho)		lai	lai	ㄌㄞ
dou	tou	ㄉㄡ	hei	hei	ㄏㄟ	lan	lan	ㄌㄢ
du	tu	ㄉㄨ	hen	hên	ㄏㄣ	lang	lang	ㄌㄤ
duan	tuan	ㄉㄨㄢ	heng	hêng	ㄏㄥ	lao	lao	ㄌㄠ
dui	tui	ㄉㄨㄟ	hong	hung	ㄏㄨㄥ	le	lê	ㄌㄜ
dun	tun	ㄉㄨㄣ	hou	hou	ㄏㄡ	lei	lei	ㄌㄟ
duo	tuo	ㄉㄨㄛ	hu	hu	ㄏㄨ	leng	lêng	ㄌㄨㄥ
	(to)		hua	hua	ㄏㄨㄚ	li	li	ㄌㄧ
e	ê	ㄜ	huai	huai	ㄏㄨㄞ	lia	lia	ㄌㄧㄚ
ê	e	ㄝ	huan	huan	ㄏㄨㄢ	lian	lien	ㄌㄧㄢ
ei	ei	ㄟ	huang	huang	ㄏㄨㄤ	liang	liang	ㄌㄧㄤ
en	ên	ㄢ	hui	hui	ㄏㄨㄟ	liao	liao	ㄌㄧㄠ
eng	êng	ㄥ	hun	hun	ㄏㄨㄣ	lie	lie	ㄌㄧㄝ
er	êr	ㄦ	huo	huo	ㄏㄨㄛ		(lieh)	
	(êrh)		ji	chi	ㄐㄧ	lin	lin	ㄌㄧㄣ
fa	fa	ㄈㄚ	jia	chia	ㄐㄧㄚ	ling	ling	ㄌㄧㄥ
fan	fan	ㄈㄢ	jian	chien	ㄐㄧㄢ	liu	liu	ㄌㄧㄡ
fang	fang	ㄈㄤ	jiang	chiang	ㄐㄧㄤ	lo	lo	ㄌㄠ
fei	fei	ㄈㄟ	jiao	chiao	ㄐㄧㄠ	long	lung	ㄌㄨㄥ
fen	fên	ㄈㄣ	jie	chie	ㄐㄧㄝ	lou	lou	ㄌㄡ
feng	fêng	ㄈㄥ		(chieh)		lu	lu	ㄌㄨ
fo	fo	ㄈㄛ	jin	chin	ㄐㄧㄣ	luan	luan	ㄌㄨㄢ
fou	fou	ㄈㄡ	jing	ching	ㄐㄧㄥ	lun	lun	ㄌㄨㄣ
fu	fu	ㄈㄨ	jiong	chiung	ㄐㄩㄥ	luo	luo	ㄌㄨㄛ

漢語拼音 方 案	本辞典式	注音符號	漢語拼音 方 案	本辞典式	注音符號	漢語拼音 方 案	本辞典式	注音符號
lǔ	(lo)	ㄌㄨˇ	nǚ	nü	ㄋㄩˇ	rui	juì	ㄖㄨㄟˋ
lǔan	lǔan	ㄌㄨㄢˊ	nǚe	nüe	ㄋㄩㄝˊ	run	jun	ㄖㄨㄣˊ
lǚe	lǚe	ㄌㄩㄝˊ	o	o	ㄛ	ruo	juo	ㄖㄨㄛˊ
	(lüeh)		ou	ou	ㄛ		(jo)	
lǔn	lǔn	ㄌㄨㄣˊ	pa	p'a	ㄆㄚ	sa	sa	ㄙㄚ
ma	ma	ㄇㄚ	pai	p'ai	ㄆㄞˊ	sai	sai	ㄙㄞˊ
mai	mai	ㄇㄞˊ	pan	p'an	ㄆㄢˊ	san	san	ㄙㄢˊ
man	man	ㄇㄢˊ	pang	p'ang	ㄆㄤˊ	sang	sang	ㄙㄤˊ
mang	mang	ㄇㄤˊ	pao	p'ao	ㄆㄠˊ	sao	sao	ㄙㄠˊ
mao	mao	ㄇㄠˊ	pei	p'ei	ㄆㄟˊ	se	sê	ㄙㄝˊ
me	mê	ㄇㄝˊ	pen	p'ên	ㄆㄣˊ	sen	sên	ㄙㄣˊ
mei	mei	ㄇㄟˊ	peng	p'êng	ㄆㄥˊ	seng	sêng	ㄙㄥˊ
men	mên	ㄇㄣˊ	pi	p'i	ㄆㄧˊ	sha	sha	ㄕㄚ
meng	mêng	ㄇㄥˊ	pian	p'ien	ㄆㄧㄢˊ	shai	shai	ㄕㄞˊ
mi	mi	ㄇㄧˊ	piao	p'iao	ㄆㄧㄠˊ	shan	shan	ㄕㄢˊ
mian	mien	ㄇㄧㄢˊ	pie	p'ie	ㄆㄧㄝˊ	shang	shang	ㄕㄤˊ
miao	miao	ㄇㄧㄠˊ		(p'ieh)		shao	shao	ㄕㄠˊ
mie	mie	ㄇㄧㄝˊ	pin	p'in	ㄆㄧㄢˊ	she	shê	ㄕㄝˊ
	(mieh)		ping	p'ing	ㄆㄧㄥˊ	shei	shei	ㄕㄟˊ
min	min	ㄇㄧㄢˊ	po	p'o	ㄆㄛˊ	shen	shên	ㄕㄣˊ
ming	ming	ㄇㄧㄥˊ	pou	p'ou	ㄆㄠˊ	sheng	shêng	ㄕㄥˊ
miu	miu	ㄇㄧㄡˊ	pu	p'u	ㄆㄨˊ	shi	shì	ㄕㄧˊ
mo	mo	ㄇㄛˊ	qi	ch'i	ㄑㄧˊ		(shih)	
mou	mou	ㄇㄠˊ	qia	ch'ia	ㄑㄧㄚˊ	shou	shou	ㄕㄠˊ
mu	mu	ㄇㄨˊ	qian	ch'ien	ㄑㄧㄢˊ	shu	shu	ㄕㄨˊ
na	na	ㄋㄚ	qiang	ch'iang	ㄑㄧㄤˊ	shua	shua	ㄕㄨㄚˊ
nai	nai	ㄋㄞˊ	qiao	ch'iao	ㄑㄧㄠˊ	shuai	shuai	ㄕㄨㄞˊ
nan	nan	ㄋㄢˊ	qie	ch'ie	ㄑㄧㄝˊ	shuan	shuan	ㄕㄨㄢˊ
nang	nang	ㄋㄤˊ		(ch'ieh)		shuang	shuang	ㄕㄨㄤˊ
nao	nao	ㄋㄠˊ	qin	ch'in	ㄑㄧㄢˊ	shui	shui	ㄕㄨㄟˊ
ne	nê	ㄋㄝˊ	qing	ch'ing	ㄑㄧㄥˊ	shun	shun	ㄕㄨㄢˊ
nei	nei	ㄋㄟˊ	qiong	ch'iong	ㄑㄩㄥˊ	shuo	shuo	ㄕㄨㄛˊ
nen	nên	ㄋㄣˊ	qiu	ch'iu	ㄑㄩˊ	si	sǔ	ㄙㄧˊ
neng	nêng	ㄋㄥˊ	qu	ch'ü	ㄑㄩˊ		(ssü)	
ni	ni	ㄋㄧˊ	quan	ch'üan	ㄑㄩㄢˊ	song	sung	ㄙㄨㄥˊ
nian	nien	ㄋㄧㄢˊ	que	ch'üe	ㄑㄩㄝˊ	sou	sou	ㄙㄠˊ
niang	niang	ㄋㄧㄤˊ		(ch'üeh)		su	su	ㄙㄨˊ
niao	niao	ㄋㄧㄠˊ	qun	ch'ün	ㄑㄩㄢˊ	suan	suan	ㄙㄨㄢˊ
nie	nie	ㄋㄧㄝˊ	ran	jan	ㄖㄢˊ	sui	sui	ㄙㄨㄟˊ
	(nieh)		rang	jang	ㄖㄤˊ	sun	sun	ㄙㄨㄢˊ
nin	nin	ㄋㄧㄢˊ	rao	jao	ㄖㄠˊ	suo	suo	ㄙㄨㄛˊ
ning	ning	ㄋㄧㄥˊ	re	jê	ㄖㄝˊ		(so)	
niu	niu	ㄋㄧㄡˊ	ren	jên	ㄖㄣˊ	ta	t'a	ㄊㄚ
nong	nung	ㄋㄨㄥˊ	reng	jêng	ㄖㄥˊ	tai	t'ai	ㄊㄞˊ
nou	nou	ㄋㄠˊ	ri	jǐ	ㄖㄧˊ	tan	t'an	ㄊㄢˊ
nu	nu	ㄋㄨˊ		(jih)		tang	t'ang	ㄊㄤˊ
nuan	nuan	ㄋㄨㄢˊ	rong	jung	ㄖㄨㄥˊ	tao	t'ao	ㄊㄠˊ
nun	nun	ㄋㄨㄢˊ	rou	jou	ㄖㄠˊ	te	t'ê	ㄊㄝˊ
nuo	nuo	ㄋㄨㄛˊ	ru	ju	ㄖㄨˊ	teng	t'êng	ㄊㄥˊ
	(no)		ruan	juan	ㄖㄨㄢˊ	ti	t'i	ㄊㄧˊ
						tian	t'ien	ㄊㄧㄢˊ

漢語拼音 方 案	本辞典式	注音符號	漢語拼音 方 案	本辞典式	注音符號	漢語拼音 方 案	本辞典式	注音符號
tiao	t'iao	ㄊㄧㄠ	xuan	hsüan	ㄒㄩㄢ	zha	cha	ㄓㄚ
tie	t'ie (t'ieh)	ㄊㄧㄝ	xue	hsüe (hsüeh)	ㄒㄩㄝ	zhai	chai	ㄓㄞ
ting	t'ing	ㄊㄧㄥ	xun	hsün	ㄒㄩㄣ	zhan	chan	ㄓㄢ
tong	t'ung	ㄊㄨㄥ	ya	ya	ㄩㄚ	zhang	chang	ㄓㄤ
tou	t'ou	ㄊㄡ	yai	yai	ㄩㄞ	zhao	chao	ㄓㄠ
tu	t'u	ㄊㄨ	yan	yen	ㄩㄢ	zhe	chê	ㄓㄜ
tuan	t'uan	ㄊㄨㄢ	yang	yang	ㄩㄤ	zhei	chei	ㄓㄟ
tui	t'ui	ㄊㄨㄟ	yao	yao	ㄩㄠ	zhen	chên	ㄓㄣ
tun	t'un	ㄊㄨㄣ	ye	ye (yeh)	ㄩㄝ	zheng	chêng (chih)	ㄓㄥ
tuo	t'uo (t'o)	ㄊㄨㄛ	yi	i (yi)	ㄩ	zhi	chǐ	ㄓ
wa	wa	ㄨㄚ				zhong	chung	ㄓㄨㄥ
wai	wai	ㄨㄞ	yin	yin	ㄩㄣ	zhou	chou	ㄓㄡ
wang	wang	ㄨㄤ	ying	ying	ㄩㄥ	zhu	chu	ㄓㄨ
wei	wei	ㄨㄟ	yo	yo	ㄩㄛ	zhua	chua	ㄓㄨㄚ
wen	wên	ㄨㄣ	yong	yung	ㄩㄥ	zhuai	chuai	ㄓㄨㄞ
weng	wêng	ㄨㄥ	you	yu	ㄩ	zhuang	chuang	ㄓㄨㄤ
wo	wo	ㄨㄛ	yu	yü	ㄩ	zhui	chui	ㄓㄨㄟ
wu	wu	ㄨ	yuan	yüan	ㄩㄢ	zhun	chun	ㄓㄨㄣ
xi	hsi	ㄒㄧ	yue	yüe (yüeh)	ㄩㄝ	zhuo	chuo (cho)	ㄓㄨㄛ
xia	hsia	ㄒㄧㄚ	yun	yün	ㄩㄣ	zi	tsü (tzü)	ㄗ
xian	hsien	ㄒㄧㄢ	za	tsa	ㄗㄚ			
xiang	hsiang	ㄒㄧㄤ	zai	tsai	ㄗㄞ	zou	tsou	ㄗㄡ
xiao	hsiao	ㄒㄧㄠ	zan	tsan	ㄗㄢ	zong	tsung	ㄗㄨㄥ
xie	hsie (hsieh)	ㄒㄧㄝ	zang	tsang	ㄗㄤ	zu	tsu	ㄗ
xin	hsin	ㄒㄧㄣ	zao	tsao	ㄗㄠ	zuan	tsuan	ㄗㄨㄢ
xing	hsing	ㄒㄧㄥ	ze	tsê	ㄗㄜ	zui	tsui	ㄗㄨㄟ
xiong	hsiung	ㄒㄩㄥ	zei	tsei	ㄗㄟ	zun	tsun	ㄗㄨㄣ
xiu	hsiü	ㄒㄧㄡ	zen	tsên	ㄗㄣ	zuo	tsuo (tso)	ㄗㄨㄛ
xu	hsü	ㄒㄩ	zeng	tsêng	ㄗㄥ			

編 者 略 歴

本 籍 徳島県那賀郡那賀川町中島 707
1898年(明治31年)6月1日生

1917年(大正6年) 徳島県立富岡中学校卒業

同 年 上海東亜同文書院商務科入学

1920年(大正9年) 同科卒業

1922年(大正11年) 東亜同文書院助教授

1923年(大正12年) 中華民国北京大学中国文哲学科入学

1925年(大正14年) 同科修了

1929年(昭和4年) 東亜同文書院教授

同 年 同書院支那研究部長

1939年(昭和14年) 東亜同文書院大学教授

同 年 同大学図書館長

1942年(昭和17年) 東京商科大学専門部教授

1949年(昭和24年) 一橋大学教授

1962年(昭和37年) 一橋大学より経済学博士の学位を受ける

同 年 一橋大学退官

同 年 一橋大学講師

1964年(昭和39年) 二松学舎大学教授

1969年(昭和44年) 東亜学院長

1971年(昭和46年) 東亜文化研究所長

1974年(昭和49年) 二松学舎大学名誉教授

1976年(昭和51年) 勲三等旭日中綬章を授与される

1978年(昭和53年) 二松学舎大学退職

1982年(昭和57年) 正四位に叙せられる

同 年 5月31日没

あとがきに代えて

本書は元来コンサイス・シリーズの一環として企画された。熊野正平一橋大学教授（当時）に、これをお諮りしたのは 1954 年（昭和 29 年）秋のことであったが、熟考の末の御承諾が得られ、数年後の刊行を目途に翌年春より編修が開始された。先生は諸事を抛って昼夜を分かたず作業に没頭されたが、その意欲と情熱はコンサイス判の容量を遙かに凌駕するとともに、正確を期して入念な検討を経るには予定の期間では到底足りなかった。加えて組版上の条件整備も難航を極め、漸く刊行の時期を予測できるに至ったのは実に十数年の歳月を経てのことであった。

しかしながら、この時期は国の内外において転換の時期でもあり、激動・変革する国際情勢の推移は本書に利あらず、その上、期を同じくして到来したオイル・ショックを契機とする世界的規模での経済基盤の変容、ひいては小社の倒産（1974 年）という現実もこれに追い打ちをかけることとなった。かくて、本文は全作業を完了し、索引とその他若干部分の編修を残すのみの段階に至りながら 1973 年（昭和 48 年）に本企画は已むなく中止となった。先生の御心中如何ばかりであられたかお察しするに余りある。

その後、刊行の試みは再三図られはしたが何れも結実を見ぬうち、先生は黙し難い思いを胸底に秘められたまま遂に 1982 年（昭和 57 年）不帰の人となられた。奇しくも誕生の日を明日にしてのまさに満 84 年の御生涯であった。

先生亡き後、御遺族はもとより学恩に与った者、縁のあった人を中心に刊行の方途が種々検討された。そして、遺業の真価を認め、意義ある偉大な業績と信ずる人々が、「公刊し、かつ後世に遺すべし」を旗標に結集した。元毎日新聞社長田中香苗渥友会（東亜同文書院および同大学同窓会）会長（当時）を代表に推戴して 1983 年秋に「熊野中国語大辞典」刊行会が結成された。熊野先生と直接に縁のなかった人までも刊行会の趣旨に賛同して馳せ参じた。田中代表初め、発起人、世話人、同事務局の方々の活躍には瞠目すべきものがあった。予約募集に対して初期予測を上回る応募があったが、この方々の御支援も忘れてはなるまい。本書の発端からの経緯からして、先ず先生の御遺志を叶うべく、そして刊行会ほかの目指す所に添うべく、小社は経営原則を無視して全面的に協力することを決意した。弘める者、応え支える者、つくる者のすべての志が一つとなり、善意と努力と協力とが結晶し、昨年 10 月 10 日「熊野中国語大辞典」が上梓されたのである。その淵源より数えてまさに一世代、30 年を要した。今は冥府の熊野先生漸くにして一先ずは御安堵されたのではあるまいか。刊行会の御尽力に衷心より敬意を表する。

刊行会版が公けとなったことにより、初めてその存在を知った方々も少くない。限られた期間内での予約制による限られた部数の出版であったから、そこには自ら制約があった。今なお本書を希望する声が数多く寄せられている。今や所期の目的を成功裡に達成された刊行会は、御遺族と、出版社としての責めを担う小社が受け継ぎ、その後の需要に応じて行くことに全面的な御賛意を示された。刊行会の意を体し、小社がここに「新装版」としてあらためて世に送る所以である。広く各界に用いられて、貢献することができるなら、今は亡き編者ととともにこれに過ぎる幸いはない。

目 次

緒 言	iii
凡 例	viii
略 語 表	ix
標準語発音と発音記号	x
中国語発音標記法対照表	xi
中國語大辭典	1
付 録	1174

旧暦重要節日・年中行事／二十四節氣／重要紀念日／
中国少数民族表／中国各地区別称／姓氏表／親属称呼
略解／親属称呼表／中国房屋各部／中国住宅図／度量
衡比較表／常用量詞表／大写数目字／蘇州碼字／化学
元素表／部首等の名称及び通俗表現／中国語音韻組織
一覽表／ 中国要図（卷末折込）

索 引

部首索引・總索引 凡 例	(1)
部 首 索 引	(2)
總 索 引	(4)
簡体字索引	(67)
編 者 略 歴	(77)
あとがきに代えて	(78)